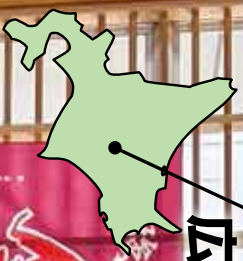


輝く未来へ しほろ創生

広報



しほろ

2025
No.773

4

- 主な内容
- ・ 町政執行方針／教育行政執行方針 P2～11
 - ・ 3月議会で可決された主な案件 P12
 - ・ 後期高齢者医療制度のお知らせ P13
 - ・ 道の駅しほろ温泉プラザ緑風 リニューアルプランについて P14～17
 - ・ 防災について パート58 P18～19
 - ・ みんなで教育を考える集い P20～22
 - ・ 春季町づくり懇談会開催のお知らせ P28
 - ・ 退職者（管理職）・役職定年者のご挨拶 P29

第28回土幌町
下の句かるた大会

令和7年度 町 政 執 行 方 針

「チームしほろ“農村ユートピア”2世紀へ」

町民誰もが安心・安全、生きがいを実感できる

「真に豊かな農村しほろ」を目指して

3月7日に開会した第1回定例町議会において、高木康弘町長が町政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。



I はじめに

我が国経済は、600兆円超の名目GDP、33年ぶりの高い水準となった賃上げを実現したものの、デフレに後戻りせず、賃上げと投資が牽引する成長型経済に移行できるかどうかの分岐点にあります。

こうした中、政府は、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」（令和6年11月22日閣議決定）を策定し、新たな経済ステージへの移行を確実なものとするため、総合経済対策の裏付けとなる令和6年度補正予算（一般会計総額13兆9,433億円）の執行を進めているところであります。

国の令和7年度当初予算は、令和6年度補正予算と一体として「経済財政運営と改革の基本方針2024」に沿って、足元の物価高、賃金や調達価格の上昇に対応しつつ、デフレを脱却し、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を実現することを目指して、物価上昇を上回る賃金上昇の普及・定着、地方創生2.0の起動、官

民連携による投資の拡大、防災・減災及び国土強靱化、防衛力の抜本的強化を始めとする我が国を取り巻く外交・安全保障環境の変化への対応、充実した少子化・こども政策の着実な実施など、重要政策課題に必要な予算措置が講じられています。

一般歳出については、68兆2,452億円（4,689億円増）となり、これに地方交付税交付金等や国債費を加えた歳出総計は、過去最大の115兆5,415億円（2兆9,698億円・2.6%増）となったところであります。

II 町政運営の基本

このような国の経済、財政の動向の中にあつて、町の行財政を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、その状況を踏まえつつ令和7年度の予算編成を行ったものであります。今後も財政の健全化に一層留意をしなければならぬものと、認識をしているところであります。

III 主要施策

地域産業の活性化により、多様な雇用を創出する

基幹産業である農業をめぐっては、引き続き肥料や飼料といった生産資材の高騰が経営を大きく圧迫し、かつてない厳しい状況が続いております。そのような中、十勝管内の農協取扱高は、3,770億円（概算値）と過去最高となり、

令和7年度は、私の任期の最終年度にあたり、「チームしほろ」農村ユートピア「2世紀へ」をテーマに、引き続き、第6期町づくり総合計画（後期）、新たに取りまとめた第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進とあわせ、第7期行政改革推進大綱を踏まえ、効率的かつ計画的な行財政運営に留意しつつ、地域の人・産業・資源を活かした「活力のある町」と、町民誰もが安心・安全、生きがいを実感できる「真に豊かな農村しほろ」を目指して参る所存であります。

十勝農業の底力を示したところでありました。生産者・関係機関のこれまでの努力に敬意を表すものであります。その一方で、世界の食料需給を巡るリスクの顕在化への対応や農業の持続可能な成長産業化を推進していかなければなりません。

これまでの生産性の高い士幌型農業に加えて、国の「食料・農業・農村基本法の見直しの方向」を踏まえ、農業・農村の多面的機能を発揮しながら、

・消費者と食・農とのつながりの深化

・担い手の育成・確保（しほろ農業塾の開講）

・スマート農業の加速化

・持続可能な農業とゼロカーボンの推進

などの取組みを農業振興対策本部（審議会・執行部会）が中心となって推進して参ります。

特に、しほろ農業塾は農村ユートピアに向けての先人の思いや歩みをしっかりと継承すべく、次の時代にチャレンジし続ける農業担

い人材を育む場としてスタートさせます。

その他、農業基盤整備事業の推進のほか多面的機能支払交付金事業（全町9地区）を継続して参ります。

一方、商工業についても、物価高騰の影響が長期化し、小規模事業者の経営は一層厳しいものがあります。小規模企業振興基本条例に基づく基本計画を商工会との連携で策定し、地域経済の持続的な発展及び町民生活の向上を目指して参ります。

人の流れを増やし、住環境を充実させ、移住・定住を促す

本町の3つの観光拠点施設の入込客数はコロナ前の水準まで徐々に回復しているところでありますが、4月のしほろ温泉プラザ緑風のリニューアルオープンによる更なる「関係人口」の拡大を目指して参ります。

移住・定住政策として、定住雇用促進賃貸住宅建設助成事業及びマイホーム建設支援事業に加え、

定住スタート応援事業及び奨学金返還支援事業の積極的なPRを図り移住・定住を推進して参ります。

結婚・出産・子育てへの支援を充実させる

国においては、「こども未来戦略方針」に基づき令和6年度より3年間でこども・子育て政策の強化に集中的に取り組むこととなっています。

本町で結婚し生活を送ることを希望する人達が増えるよう、結婚につながる出会いの場を充実させるため、新たに若者世代交流事業助成をスタートさせます。

また、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う『こども家庭センター（令和6年4月開設）』の充実を図ります。

子育てにかかる経済的な負担の軽減として、令和5年度から開始した小学校・中学校の児童・生徒に対する給食費の完全無償化を継続します。

次に、平成20年度にスタートした『認定こども園』ですが、少子化

が進む中であっても3歳未満児の入園が増加している現状と施設の高齢化を踏まえ、『こども発達相談センター』と併せて移転新築整備を進め、子育てしやすい環境の充実に図ります。

一方、全国的に子どもの虐待や事故の頻発、子どもの貧困と言われる事態を大変憂慮しているところであり、地域を挙げて子どもを守るために、要保護児童対策地域協議会を構成する町・教育委員会・児童相談所・警察など関係機関との連携を強化して参りたいと存じます。



こども発達相談センター（完成イメージ）



認定こども園 (完成イメージ)

安心して住み続けることができる地域をつくる

国の社会保障制度が見直される中において、保健・医療・福祉の

推進においては、よりきめ細かい対応が必要であると認識をしているところであります。

「福祉村」内の各施設の連携を図りながら、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築を一層進めて参りたいと存じます。

まず、健康づくりの推進については、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を基本目標に、誰もが健やかに安心して生活できるよう、引き続きライフステージに応じた各種施策を推進して参ります。

次に、高齢者及び障がい者の福祉についてであります。「第9期介護保険事業計画」及び「第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の2年目となりますが、福祉関係団体との連携のもと計画を推進して参ります。

介護保険事業の運営にあたっては、介護予防の充実による保険料の抑制、制度の安定及び町内の施設等の人材確保を図って参ります。障がい者福祉では、NPO法人

「士幌町障がい者支援の会」により「障がい者総合施設」を拠点として、各種事業が展開されているところであり、今後においてもNPO法人と連携しながら機能の充実を図って参りたいと存じます。

更に、地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会など福祉関係団体と連携しながら、全地域で展開されている「ふれあい・いきいきサロン」、「共生型常設型居場所」や「たすけ愛」など、地域で支え合うシステムづくりを積極的に推進して参ります。

地域福祉の推進に向けては、高齢者の交通手段の確保が重要な要素であります。市街地におけるコミュニティバス運行と併せ、高齢者等移動支援事業によるハイヤーチケットの交付を継続して参ります。

次に、地域医療に関してですが、医師・看護師不足、診療報酬の改定などにより、自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。

町内唯一の医療機関であり、保

健・医療・福祉を包括する「福祉村」の中核施設としての役割を担う国保病院のサービス向上と経営改善の取組み、人口構造や医療ニーズの変化を踏まえた医療機能や経営形態を含めた議論を行って参ります。

次に、世界的な気候変動が引き起こす自然災害の頻発・激甚化により町民の生命・財産を脅かすリスクに常にさらされており、防災・減災の対策や日本海溝・千島海溝沿い巨大地震が近い将来発生することも想定されるなかでの事前防災の重要性など、今後においても自然災害への対応は極めて重要であります。

地域防災マネージャーを中心に地域防災計画に基づき、防災備蓄品の整備をはじめ自主防災組織率の向上と活動支援による地域と連携した防災訓練・防災対策の強化に努めて参ります。

また、地球温暖化に伴う猛暑対策として、公共施設への冷房設備の整備を年次的に着手して参ります。

ゼロカーボン土幌の実現

地球温暖化は、我が国、そして世界全体にとって大きな課題であります。2050年までの脱炭素社会の実現を見据えて、令和4年6月に「土幌町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、今年度、土幌町地球温暖化対策推進計画（区域施策編・土幌町気候変動適応計画）を策定しました。2030年、2050年の温室効果ガス（CO₂）削減目標に向け、令和5年度に採択を受けた環境省の重点対策加速化事業の活用と共に、町単独補助（通称・はちどり補助金）によって町内の事業者、住民との連携・協働により太陽光発電設備、蓄電池、高効率給湯器等の導入を進めて参ります。

持続可能な町づくりの推進

町政の推進にあたっては、庁内組織と連動して、町民会議や地方創生推進会議など、町民や関係機

関・学識経験者にも広く参画をいただきながら、推進をして参ります。

次に、広聴活動と積極的な情報発信であります。これまでの広報しほろ・役場だよりでの月1回の発信、春と秋の町づくり懇談会、ユートピアメールに加え「しほろみらいトーク」と「土幌町公式LINE」などのSNSの積極的な活用を図って参ります。

また、マイナンバーカード、公式LINEによる各種証明書の申請や「書かない窓口」の導入などデジタル技術を活用した公的サービスの効率化等を積極的に進めます。

次に、財政健全化に向けての取り組みであります。国の地方財政計画においては、地方交付税は18兆9,574億円（2,904億円・1.6%増）となったものの、臨時財政対策債は平成13年度の制度創設以来、初めて発行額がゼロ（4,544億円減）となり、町財政の運営に支障が生じないよう引き続き、時代のニーズをしっかりと見極めながら、より計画的かつ効率的

な財政運営に留意しなければなりません。

また、新たな財源の確保の一端を担っている本町のふるさと納税は、返礼品を準備いただいているJA土幌町や各事業者のご協力により年々増加し、令和5年度5億1,500万円、令和6年度も約5億円を見込んでおります。令和4年度より開始しました企業版ふるさと納税を含めた寄附実績の着実な増加を図るだけでなく、土幌町の魅力を発信するツールとしても活用し、更なる地域好循環を目指して参りたいと存じます。

本町においては、町の担う行政サービスの手段である事務事業及び公共施設について担うべき主体やニーズの多様化を支える上で、経常収支比率が高い状況（令和5年度決算87.8%）にあります。労務単価の上昇や物価高騰の影響から経常的経費は、ここ数年大幅に増加しています。引き続き、第7期行政改革推進大綱の着実な実施により、健全な財政運営に一層留意をして参る所存であります。

IV むすびに

土幌町の歴史は挑戦の歴史であり、先人が「農村ユートピア」を目指した地域のたゆまぬ努力とあふれる熱意により、多くの困難を乗り越え未来への道を切り拓いてきました。

今後、町民の皆様と力を合わせ、様々な困難に向き合い、挑戦し続けることで、更に大きく飛躍できるものと考えています。そのためにも、全力で町政運営に取り組んで参ります。



ふるさと納税を原資とした給食費無償化事業（2月28日、北海道日本ハムファイターズのマスコットB・Bが中央中を取材している様子）

令和7年度 教育行政執行方針

「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」

子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、異校種間の連携を推進

3月7日に開会した第1回定例町議会において、土屋仁志教育長が教育行政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。



I はじめに

教育基本法は、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」と、その目的と基本理念を明確にしているところであります。

この理念を踏まえ、町民の信頼と期待に応えるために必要な教育環境を整備し、教育の質を高めていくことは極めて重要であり、令和3年度から5年間で計画期間とする「土幌町教育振興基本計画」に基づき、教育施策の総合的・計画的な推進を図ってまいります。

今日の社会は、人口の減少、少子高齢化に加え、グローバル化、産業構造の変化など数多くの課題を抱えており、これからの社会は、IoTやビッグデータ、人工知能をはじめとする急速な技術革新や、グローバル化の一層の推進などにより、大きく変化することが予想されています。

そうした中、本町の学校教育においては、教育実践のテーマである「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」を基調とし、子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、幼・小・中・高の異校種間の連携・接続を推進するとともに、学校はもとより家庭や地域と連携する「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」の推進を図り、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和のとれた育成と地域の温かい眼差しの中で、未来を担う子どもたちが人間性豊かで創造性にあふれ、心身ともにたくましく成長するよう充実した教育環境づくりに取り組みます。

また、社会教育においては、すべての人々がスポーツや文化活動など多様な活動に参加し、生きがいをもって心豊かな生活を営み、生涯にわたって学びその成果が活かせる生涯学習社会を展望しつつ、教育行政を推進してまいります。

II 重点施策

1 学校教育

子どもたちがこれからの変化が激しい社会の一員として自立して活躍するため、学校においては、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるよう子どもたち一人ひとりの良さや可能性を引き出し、新しい時代に必要となる資質・能力を育成することが極めて重要であります。特に、小・中学校については、義務教育9年間を見通した系統的で継続的な指導の更なる充実を目指します。

また、教育活動等の様々な見直しや改善、精選に取り組み、効率的・効果的な質の高い教育活動の実施並びに校務運営の推進を図ってまいります。

基礎・基本を身につけた確かな学力の育成

・学力向上

学力向上については、全国学力・学習状況調査等の各種検査結果を検証・分析し、具体的な改善策に

結びつける系統的で継続的な取組を全校体制で行うとともに、学校間で情報を交流・共有することによって町内全体の学力の向上を目指します。

また、子どもたちの学力向上に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を積極的・組織的に推進を図ってまいります。各学校では、校内研修の充実やICTの効果的な活用を図った指導などを具体的に位置づけ、取り組んでいくこと、主体的に課題を自ら発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探求的な学習やSTEAM教育等の教科等横断的な学習の推進を支援してまいります。

・臨時教諭等の配置

昨年制定した、町費負担による臨時教諭を配置する対象学年を小・中学校全学年に拡大する「土幌町立小・中学校における学級編制等に関する規則」により、本年度は小学校第1学年と第4学年、中学校第2学年で少人数学級編制等を

実施し、個に応じた指導の充実を推進してまいります。

また、必要に応じて臨時教諭、時間講師、支援員を、医療的ケアが必要な児童生徒が就学する学校には看護師の配置を行ってまいります。



外国語指導助手 (ALT)

・外国語教育

本町においては、令和5年度より中学校英語科教員による小学校「外国語・外国語活動」の専科指導を進めてまいりました。本年度も引き続き小中連携した専科指導をさらに充実させるとともに、3名体制の外国語指導助手 (ALT) 派

遣の継続により、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高め、「聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと」の言語活動を通し、外国語によるコミュニケーション能力の育成を一層図ってまいります。

・特別支援教育

特別支援教育については、インクルーシブ教育の理念に基づいた全校体制での特別支援教育推進の充実に向けて、教員の専門性の向上に努め、校内連携会議の定期的な開催など子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の充実を図ってまいります。加えて、特別支援教育支援員を要所に配置して、子ども一人ひとりの能力や可能性を伸長するきめ細かな指導・支援に努めてまいります。

また、教育委員会、学校、こども園、保育所等の関係機関の連携組織である「土幌町子育て支援連携協議会」で協議し、特別な教育的支援が必要な子ども一人ひとりに乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を推進してまいります。

・ICT活用教育

一人一台端末は児童生徒の学びに必要な基盤的ツールとしての位置づけがますます高まってきています。今年度は小・中学校児童生徒の端末を更新することもあり、各学校における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現に向けたICTの効果的活用を進めるため、教育研究所ICT部会を中核とした町内交流や研修会開催などで、教職員のICT活用能力の一層の向上を図ってまいります。

また、ICTの積極的活用に伴う、児童生徒の情報モラル教育の充実や健康への配慮に加えて、校務の情報化・効率化や教育データの利活用による効果的な学びの支援についても一層推進してまいります。

・学習サポート

長期休業中の学習サポートについては、小学校3校の合同開催や土幌高校生徒の協力など学校連携の要素も加わり、年を経るごとに内容が充実するなど、着実に成果

を上げており、基礎基本の定着や主体的に学習に臨む態度の育成等を目指し、更に効果の上がる取り組みにまいります。

教育委員会が平成26年3月から開始した北海道大学の学生による「学習サポート塾」には、毎回多くの小・中学生が参加し、学習のみならず、読書や運動等を通して、大学生と楽しく学ぶ機会となっており、今後も更に充実を図りながら継続してまいります。

・教職員研修等

教職員の研修については、教員免許更新制の発展的解消に伴う「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた新しい研修制度が実施され、教師自身の個別最適な学び、協働的な学びが求められています。

ICT活用能力や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善などプロ教師としての資質能力を磨く各種の研究会・研修会への参加を積極的に後押しすることや日常的教育実践や自己研鑽を進め、教員同士の学び合いを高める校内体制の充実を支援してまい

ます。

また、学校教育に対する信頼を確保するため、教職員の不祥事根絶などを目指した服務規律の徹底に向けた校内体制の整備や研修の充実を進めてまいります。

優しさと思いやりの豊かな心の育成

子どもたちが、互いを尊重し、ともに支え合いながら社会の一員として成長するためには、学校・家庭・地域が連携しながら、心身の健やかな発達を支えていくことが大切です。

・道徳教育

道徳教育の核となる「道徳授業」で学んだことは、他の教科や総合的な学習の時間、特別活動などと連携した視点をもつことにより、自らの生き方について考えを深めることにつながります。命を大切にすること、心や思いやりの心、公共心や規範意識を育てるため、あるいは、社会性や豊かな人間性を育むため、組織的・計画的な道徳教育の指導体制の整備と、「考え議論する道徳」の授業づくりを推進して

まいります。

・いじめ防止対策

いじめは、全ての子どもたちが「いかなる理由があろうと、絶対に許さない」という強い認識を持ち、児童生徒が主体的に未然防止に取り組む学校風土を醸成するとともに、教職員のいじめの積極的認知と情報共有を進めた体制を整備して、いじめの早期発見・早期解消に取り組む学校づくりを支援してまいります。

各学校においては必要に応じて「いじめ防止基本方針」の見直しを行うとともに、保護者や地域への説明などで理解と連携を図り、組織的・積極的ないじめ防止対策を推進するよう努めてまいります。

・不登校対策

近年、学校に足が向かずに、短時間の登校や欠席が多くなっている不登校児童生徒が多く見受けられ、各学校においても支援教室の設置などの対策を講じています。不登校に至る原因は児童生徒により様々で、個々に応じた丁寧な支援が必要であり、令和5年度より、

町採用の不登校対策専門員を配置、令和6年度からは町採用の支援員を新たに配置し、児童生徒及びその保護者に寄り添った相談など適切な支援をしてまいります。本年度についても専門員の配置を継続し、関係機関とも連携を図るなど不登校に対する支援の充実を図ってまいります。

健康とたくましい体力の育成

・体力向上

体力については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証・分析し、学校課題に対する具体的な改善策に結びつける取り組みを行うとともに、学校間で情報を交流・共有することによって町内全体の体力・運動能力の向上を目指します。また、本年度も小学校在町採用の体育専科教員の配置を継続して、体育の授業改善及び日常活動を通した体力・運動能力の向上を支援してまいります。

新体力テストについては、全学年・全種目実施や複数回実施による体力向上の取組を推進してまいります。



土幌町スポーツ少年団 サッカー教室

・スポーツ少年団活動、部活動

本町の児童生徒は、スポーツ少年団活動・部活動参加率が高く、各種スポーツ競技大会での成果が注目されていますが、健康・体力や運動能力の一層の向上を図る方策として、これらの活動を積極的に支援してまいります。また、部活動の地域展開につきましては、実施に向けた準備会を設置して、関係機関との連携を一層強め、学校活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、地域の実態を踏まえた地域展開への協議を推進してまいります。

安全・安心な教育環境づくり

学校は子どもたちにとって安全で安心して学ぶ場であればなりません。通学時の安全対策を含めて、実践的な防災・防犯教育を進めるとともに、子どもたちの安全・安心を確保し、快適に学ぶことができる教育環境を整備するために、家庭や地域・関係機関との連携を図ってまいります。また、自然災害への対応等を想定した「一日防災学校」の取り組みを推進してまいります。

大地くんと学ぼう

地元で生産される農畜産物などを利用した食品加工体験を通して、地域の産業や食に関して学ぶ、食農体験学習「大地くんと学ぼう」は、管内的にも注目される取り組みであり、本町の特色ある教育活動の一つであります。今後も農畜産物加工研修施設「しほろキッチン」の有効活用や学習内容の充実を図るなど継続して実施してまいります。

都市交流事業

各小学校間で長い歴史がある都市小学校との交流事業は、子ども

たちの日常生活では経験することのできない貴重な体験を通して、人間形成に大きな役割を果たすものと考えます。

事業実施にあたっては、相互交流を基本とすることから、交流先の理解と協力が必要となりますが、子どもたちの心に残る事業実施に向けて協議を進め、本事業の目的達成に努めてまいります。

学校給食・食育

学校給食では、衛生管理や指導の徹底を図り、食の安全確保に努めてまいります。

地産地消の推進につきましては、「ふるさと給食月間」の設定、土幌町肉牛振興会や土幌高等学校の協力の下、土幌産の食材を生きた教材として活用し、安心できる給食を提供することで、地域の食文化への理解を深める取り組みを進めてまいります。

高等学校

北海道土幌高等学校は、農業及び農業関連産業の担い手育成をめざし、地域の信頼に応える教育実践を経営方針として学校経営を展開

開してまいりました。

近年は、少子化の影響から、郡部校の存続が極めて厳しい状況にあるものの、本校の農業教育の実践は、望ましい勤労観や職業観を育むとともに、修学支援制度や海外文化交流事業などを活用し、農業の魅力を伝え地域を支える産業人育成のために大きな役割を果たしているところです。

今後につきましても、本校の特色ある活動や教育の成果、そして学校の魅力を広く発信することにより、より多くの皆さんの本校に対する興味・関心を高めて、入学希望者の増加に繋げてまいります。

コミュニティ・スクール

子どもたちの健やかな成長を支えるためには、学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境をつくる必要があります。

認定こども園を含め町内の全ての小・中・高等学校に導入した「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の充実を図り、地域住民及び保護者の学校運営への一



土幌町教育研究所小・中連携部会による
中学校での体験授業

層の参画を促し、学校と地域がより一体となった組織づくりを進めてまいります。また、昨年度より配置した「土幌町コミュニティ・スクールコーディネーター」の活用を図り、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動をコーディネートすることで地域と学校が繋がり、教育活動がより充実したものとなるよう推進してまいります。

学びをつなぐ学校づくりの実現

「土幌町幼・小・中・高連携教育」の推進は3年目となります。本年度は、過去2年間の取組の成果と課題を検証し、連携の質や量の充

実とともに、教職員の交流など、認定こども園・保育所・小学校・中学校・高等学校の各学校間の連携・接続を図りながら、管理職がリーダーシップを発揮して学校運営に当たるとともに、教職員の発想を生かした創造的な取組が展開できる環境づくりを推進してまいります。

学校における働き方改革の推進

学校における働き方改革については、学校行事などの教育活動のスリム化やICTを活用した教科指導並びに校務の効率化を推進して、教職員の時間外在校時間の削減など推し進めてまいりました。今後については、「北海道アクションプラン（第3期）」や現状把握をもとにした「土幌町立学校における働き方改革推進プラン」の見直しなど、教職員の働き方改革に関する意識を高める取組や「働きやすさ」と「働きたい」を両立させた学校運営体制の充実、環境整備を推進してまいります。

2 社会教育

令和4年度から5年間で計画期間とする社会教育中期計画に基づき、各種の社会教育施策を推進してまいります。

町民が生涯にわたって生きがいを持ち、充実した生活を実現するために、それぞれのライフステージに応じた学習活動を行って自己実現を図ることが必要であり、その意味では社会教育の果たす役割は極めて重要であると考えます。

近年、核家族化や少子化などの影響により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。このため、家庭教育に資する学習活動や、子育てに関する支援事業の充実に努めてまいります。

生涯学習の推進については、いつでも、どこでも、だれが必要に応じて生涯学びあえる環境づくりを進める必要があることから、様々な学習機会の提供に努めてまいります。

生涯教育・学習機会の充実

少年教育については、サタデー

スクール、放課後子ども教室、イングリッシュキャンプ、学習サポート塾の継続実施により、自然や生活体験を重視した学習を行い、豊かな人間形成を図る学習機会の充実を図ってまいります。

青年教育については、町づくりの更なる活性化を図るため、青年組織の主體的活動を支援するとともに、若い力の町づくりへの積極的な参加を支援してまいります。

成人一般教育については、生涯学習講座や研修会、出前講座など様々な学習機会の提供に努めるとともに、特に女性活動の推進については、女性ライフスクールの開設、地区女性学級の支援に取り組むほか、女性団体の活動に支援を行ってまいります。

家庭教育については、インターネットやスマートフォンの普及などの社会環境や共働き家庭の増加など家庭環境の変化により、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、新たな課題が発生しています。

そのため、教育を考える集いや

インターネットの講座などの学習機会の提供を行い、家庭教育の充実を図ってまいります。

高齢者教育については、柏樹学級の開設により、スポーツ・ボランティア活動や世代間交流活動を通して心身の健康増進に努め、生きがいのある生活が実現できるよう支援していくほか、豊かな経験を生かした学習活動や社会参加を推進してまいります。

芸術・文化

本町における芸術・文化活動は、文化協会加盟団体や各種サークルにより自主的な活動が活発に行われています。引き続き、文化団体への活動支援や芸術鑑賞会、文化祭の開催を行ってまいります。

スポーツ

スポーツについては、健康や体力の維持・増進のほか、地域コミュニティ形成にも大きな役割を果たすものであり、「町民一人一スポーツ」運動を推進してまいります。

また、町民が個々の体力や健康状態に応じてスポーツに取り組めるよう、初歩的なスポーツ教室や

軽スポーツの普及促進に努めるほか、スポーツ推進委員や町体育連盟各競技団体と連携を図り、各種競技大会を開催いたします。

スポーツ少年団活動は、競技技術の向上に加えて、子どもたちの健全育成にも大きく寄与するものであり、指導者の養成や日常活動に対する支援に取り組んでまいります。

社会教育施設

社会教育施設については、複合施設である総合研修センターにつきましては、令和5年度より指定管理者制度による業務委託となりましたが、これまで通り生涯学習の拠点施設としての役割を果たしてまいります。

今後も、いつでも・だれもが学ぶことができる施設として多くの町民の方々に利用していただけるよう、利用者のニーズを的確に把握して、要望に十分応えられるよう、施設・設備の維持・管理に努めてまいります。

また、本町では、各地区公民館が地域コミュニティを形成する場

として重要な役割を果たしており、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に大きく寄与しています。公民館活動推進委員会への継続した支援を行うとともに、公民館施設は各地区の活動拠点であるとともに災害時の避難場所に指定されていることから、施設・設備の適切な維持・管理を行ってまいります。

したしみ図書館についても、指定管理者制度による業務委託となりましたが、生涯学習のための拠点として、町民の読書要求と学習意欲に応えられる資料を収集・提供するとともに、広く町民に親しまれる図書館づくりに取り組んでまいります。

また、小学校と連携した巡回図書や読み聞かせ等の活動を継続するとともに、ボランティアサークルの育成を図り、子どもの読書活動の推進・充実を図ってまいります。

その他、スポーツ施設についても、施設延命化のため、適切に維持・管理をしてまいります。

Ⅲ むすびに

教育委員会といたしましては、総合教育会議などを通して、これまで以上に町長との連携を図り、士幌町教育大綱に掲げる「輝く未来へ しろろ創生」の基本理念のもと、今後も次代を担う本町の子どもの健やかな成長と、町民の皆様の活気と潤いに満ちた生涯学習社会の創造をめざし、学校・家庭・地域はもとより、関係機関・関係団体等との連携を深めて本町教育のより一層の充実・発展のため、全力で取り組んでまいります。



士幌町文化祭

3月議会会で可決された主な案件

3月7日から13日まで令和7年第1回定例会が開催されました。条例改正や令和7年度予算などの議案について審議し、原案のとおり可決されました。

○定住自立圏形成協定の變更について

定住自立圏形成協定の變更について、議決を経ようとするもの
○刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

刑法等の改正により、条例を改正するもの

○地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

地方自治法の改正により、条例を改正するもの

○土幌町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

「乳幼児等」を「子ども」に改めるほか、償還払いによる助成の申請期間について、長の裁量要件を加えるため、条例を改正するもの

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく地方公共団体システムの統一・標準化及び土幌町乳幼児等医療費の助成に関する条例の改正により、条例を改正するもの

○育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴い、職員が育児・介護に係る休暇等の取得要件の拡大を図ることを目的として条例を改正するもの

○職員の勤務時間及び休日休暇等に関する条例の一部を改正する条例

職員の年次有給休暇の整理期間を暦年から年度に改めるため、条例を改正するもの

○土幌町社会福祉委員会条例を廃止する条例

土幌町社会福祉委員会は、民生委員児童委員と整理し役割を終えたため、条例を廃止するもの

○土幌町学校部活動地域展開準備会設置条例

学校部活動及び地域クラブの在り方等に関する総合ガイドラインにより、学校における部活動の地域展開に係る取り組みの検討が必要であることから、条例を制定するもの

○報酬に関する条例の一部を改正する条例

農地利用最適化事業の交付申請基準の変更等の理由により、条例を改正するもの

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与に関する法律の改正（人事院勧告）に伴い、扶養手当、管理職員特別勤務手当及び給料表について改定するため、条例を改正するもの

○土幌町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

パートタイム会計年度職員のうち、週の勤務時間が37時間30分以上（1日の勤務時間が7時間30分以上）の者に対して、住居手当を支給することを目的として条例を改正するもの

○土幌町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正により、条例を改正するもの

○土幌町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国の方針等に基づく令和12年度の保険料水準の統一までの段階的な保険税率等の見直しとともに賦課限度額及び軽減判定基準における地方税法の改正に関し規定するため、条例を改正するもの

○建設工事請負業者資格審査会及び建設工事請負業者指名委員会設置条例の一部を改正する条例

入札参加者の指名において、発注者の恣意的判断や不正な行為につながるようなよう、公正性・透明性をより一層確保することを目的に組織体制を改めるため、条例を改正するもの

○土幌町簡易水道事業給水管理条例の一部を改正する条例

水道法施行令及び水道法施行規則の改正により、条例を改正するもの

○令和6年度補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、国民健康保険病院事業会計

○令和7年度予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、国民健康保険病院事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計

後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 高額介護合算療養費について ～

■ 高額介護合算療養費とは

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。

支給対象となる方には、3月下旬に申請のお知らせをお送りしています。

- 後期高齢者医療制度、または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円以下の場合は、支給の対象となりません。

◆ 自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間：令和5年8月1日～令和6年7月31日】

区 分		負担割合	課税所得	自己負担額の合計の限度額
現役並み所得者		3 割	6 9 0 万円以上	2 1 2 万円
			3 8 0 万円以上	1 4 1 万円
			1 4 5 万円以上	6 7 万円
一定以上所得者		2 割	1 4 5 万円未満	5 6 万円
一 般		1 割		3 1 万円
住民税 非課税世帯	区分Ⅰ（※2）			1 9 万円

※1 世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金控除は80万円を適用。給与所得がある場合、その金額から10万円を控除。）、または老齢福祉年金を受給している方

お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合

【住所】〒060-0062

札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館6階

【電話】011-290-5601

町民課国保医療係

【電話】01564-7-7726

～道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」グランドオープン間近！～

昨年10月より工事を進めておりました道の駅「しほろ温泉プラザ緑風」ですが、いよいよ4月18日(金)にグランドオープンいたします。

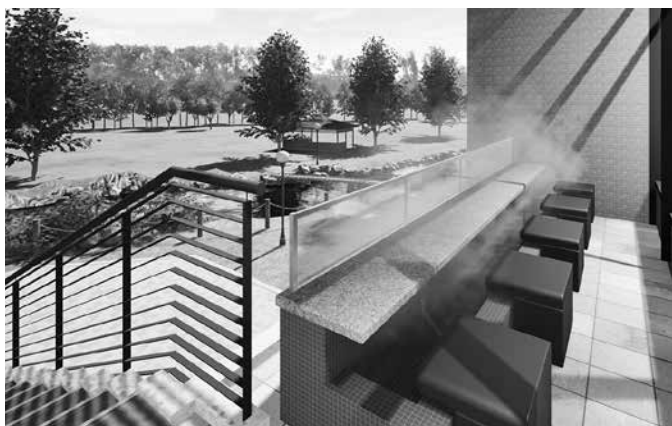
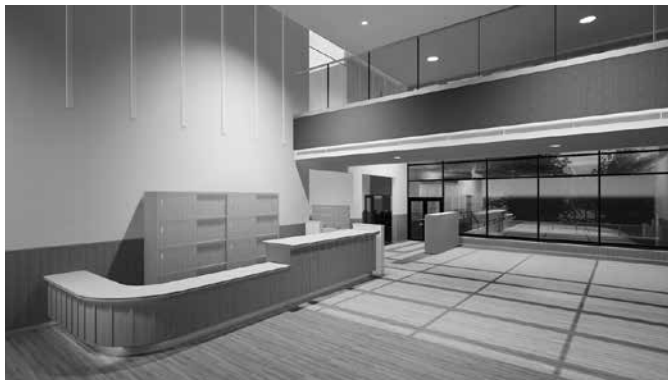
【館内ご案内】

○フロント

宿泊客の受付、観光案内、売店での商品購入、入浴券の購入を全てフロントで対応するようになりました。

また、入り口から下足ルームに誘導される造りになっており、お客様が下足後、必ずフロントの前を通る造りになりました。

スマートチェックイン機を導入し、宿泊受付がよりスムーズになりました。



○足湯テラス

館内入り口からまっすぐ進んだ先のガラス張りの外に足湯テラスを設置しました。

屋根があり通年利用しやすくなり、フロントから足湯の様子をガラス越しに確認できます。

横一列であるため、視界を遮ることなく建物西側の自然豊かな景観や、パークゴルフ場の眺めを楽しむことができます。

※パークゴルフ場は、外構工事のため8月末で閉鎖します。

○休憩室

ワンフロア化しました。

授乳室とベビールームを新設しました。

冷凍自動販売機を設置し、いつでも自由に軽食を購入できるようになりました。

メニュー：惣菜、麺類、カレー、弁当、デザートなど



○客室

全部で15室あります。

フラットな畳洋室とし、ベッドを配置し和モダンな部屋に変更しました。

新たにシャワールームとカードキー式ドアを導入しました。



和モダンツインタイプ



北海道十勝「モール温泉」源泉かけ流し



○浴場

健康の湯：電気風呂、ジェットバス、露天風呂にスロープを設置しました。

美容の湯：ナノクラ(ミストサウナ)、露天かめ風呂、エステシャワーを設置しました。

株式会社ポーラが認証する美肌温泉証を取得しました。

2つの大浴場が、男湯と女湯から、健康の湯と美容の湯となりました。

日替わりで男女入れ替わりで入浴することができます。

○レストラン

レストラン内の段差をなくしバリアフリー化し、全ての人が過ごしやすくなりました。

各テーブルに無煙ロースターを導入しました。

特産品である「しほろ牛」を中心とした肉料理が提供されます。

また、小上がりを個室化しました。



【料金・メニュー等ご案内】

町民は優遇料金で
入浴できます♪

○日帰り入浴料金

- ・通常料金(町外からの利用者)

R 7. 4 ~ 料金	大人 (中学生以上)	子供 (小学生以下)	—	大人回数券 (12回)	子供回数券 (12回)	—	1 カ月定期券 ※顔認証登録者
	¥700	¥350	—	¥6,500	¥3,200	—	¥8,000
平日 割引料金	¥600	¥300	—			—	—

・町民優遇料金

町民 優遇料金	大人 (19歳以上)	18歳以下 ※顔認証登録者	65歳以上	大人回数券 (12回)	—	65歳以上回数券 (12回)	1 カ月定期券 ※顔認証登録者
	200円割引	子供無償化 (子育て世帯支援)	特典	1,500円割引	—	2 回分お得 (特典)	2,500円割引
	¥500	無料	¥350	¥5,000	—	¥3,500	¥5,500

- ・営業時間 12:00~22:00(最終受付21:00)

○貸し切り風呂料金

50分1,000円ご利用できます。

障がい者手帳(1.2級)、療育手帳(A)をお持ちの方は無料です。

宿泊者はホームページから申し込むと特典で半額になります。



○日帰りレストランメニュー(昼食)

- ・営業時間 12:00~15:00(ラストオーダー14:30)

〈メニュー例〉

しほろ牛すき焼膳、しほろ牛ハンバーグ膳、カルビ丼、石焼プルコギビビンバ、石焼明太子ビビンバ、ローストビーフ丼、ビーフシチュー膳、モツ煮膳、緑風ザンギ、海鮮焼定食、など

【町民3大特典あり！】

- ①1,000円分商品券進呈！
- ②アーリーチェックイン・レイトチェックアウト対応無料！
- ③各種アクティビティ無料！

○**宿泊料金**

…(例：大人2名1室、1泊2食付きでのご案内)

【部屋タイプ】

和モダンツインタイプ(全10室)	： 一人あたり14,300円～
和洋室バリアフリー(全3室)	： 一人あたり16,800円～
メゾネットルーム(全2室)	： 一人あたり16,800円～

- ・休日や繁忙期等、若干の金額変更がある場合があります
- ・チェックイン受付：15時から、チェックアウト受付：10時まで
- ・ご入浴時間 15：00～24：00 / 5：00～9：00

チェックイン開始の15時から21時までの 最大6時間好きなドリンクが飲み放題

〈飲み放題ドリンクメニュー例〉

アルコール : ビール、焼酎(芋、麦)、日本酒、ワイン など

ソフトドリンク : コーラ、ジュース、ウーロン茶、コーヒー など

※ほかに一部有料ドリンクもございます



○**宿泊者レストランメニュー(朝食・夕食)**

【朝食 7：00～9：00(最終入場 8：45)】

朝食は、和風出汁でアレンジしたしほろ牛カレー、お好みにカスタマイズできる北海出汁茶漬け、士幌町特産じゃがいもを使用したコロッケ、サラダバー、ドリンクバーをバイキング形式でご利用できます。



【夕食 18：00～21：00(ラストオーダー20：00)】

夕食は、しほろ牛5段重コースで焼き肉が堪能できます。1段追加して6段重にできます。(追加料金あり)

町民のみなさまにおかれましては、休館中ご不便をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

完成まで今しばらくお待ちください。

担当 産業振興課 商工観光労働係

TEL：01564-5-5213

詳しくはHPをご覧ください <https://www.shihoro-spa.co.jp/>



宴会場

自主防災組織の活動について ～友愛地区自主防災会～

2月7日（金）、下居辺公民館にて、友愛地区自主防災会（三木正美会長・飯島勝事務局代表）の企画により「厳寒期の在宅避難を考える」をテーマとした集会（下居辺公民館・土幌町共催）が行われ、他の地区からの参加者を含め32名が参加されました。

この中で町総務課の嵯峨勉地域防災マネージャーと生涯学習コーディネーター渡辺健二氏（元下居辺小学校教頭）は、能登半島地震など過去の被災の状況や、その教訓を踏まえた上での在宅避難のポイント、災害関連死の現状や防止策について講話しました。

会の最後に友愛地区自主防災会会長の三木正美氏は、「万が一地域が被災し避難生活を余儀なくされた場合の参考にさせていただきたい。今後、高齢化が増々進んでいく中、地区の被災の状況や他の被災地の教訓、自主防災会の活動などを若い世代に受け継いでいくことが大切」と呼び掛けていました。

また、下居辺地区公民館推進委員長の板垣明彦氏は、「下居辺地区として友愛地区自主防災会の活動と協力してやっていきたい」と挨拶されました。



板垣下居辺地区公民館推進委員長挨拶



三木友愛地区会長挨拶



司会：飯島友愛地区事務局代表



参加された皆さん（友愛地区、下居辺地区、地区外など）



講師：渡辺氏



血流を良くするための足の運動の紹介

講師：嵯峨マネージャー、武田主事

テーマ「厳寒期の在宅避難を考える」の主な内容

1 厳寒期の在宅避難について

○ 在宅避難の位置付け（在宅避難とは）

- 避難指示があった場合は、安全な場所に避難することが前提ですが、自宅（周囲を含む。）に倒壊や焼損など、危険がない場合には、自宅で避難生活することも可能です。この避難方法を在宅避難といいます。
- 一方、在宅避難間は、基本的にライフライン（電気、水道、ガス）が使えない状態で日常生活を送ることとなります。

このため、避難先を考えるにあたっては、まず、在宅避難をした方がよいのか、避難所などで避難生活をした方がよいのか、ご家族がよりよく避難生活ができる場所（その他、親戚、知人、ホテル、旅館など）を考えることが必要です。

○ 厳寒期における在宅避難のポイント

厳寒期には、特に①保温、②加温、③食事などの3つの点に留意する必要があると言われています。

① 保 温（体の体温を維持する）

温かい衣服（ジャンパーなど）、毛布、手袋、アルミフィルムなどの活用。

② 加 温（体の外から温める）

暖房器具（電気を使わないポータブルストーブなど）、カイロ、湯たんぽなどの使用など（ポータブルストーブ使用時は、定期的な換気に注意しましょう。）。

③ 食 事（体の中から熱を作る）

- バランスの良い食事を3食、きちんと食べる。
- たんぱく質（肉、魚介類、卵、大豆、乳製品）を摂取する。
- できるだけ温かいものを食べる。

2 災害関連死について

○ 能登半島地震における災害関連死の発生状況（令和7年1月23日現在）

死者：516名のうち、災害関連死：288名（全体の56%）

- 原因別では
避難生活における生活環境の変化やライフライン（電気、ガス、水道など）の途絶による肉体的・精神的負担が大半です。
- 年齢別では
70代以上の方々が大半です。

○ 災害関連死を防止するためには

- 心の健康への対応
 - 周囲の人とコミュニケーションを取る（声を掛け合い、協力し合う）。
 - 避難生活をがんばりすぎず、困ったときは周囲の人たちの支援を受ける。
- 体の健康への対応
 - 低体温症、生活不活発発病、エコノミークラス症候群及び感染症などの予防（軽い運動や、足をマッサージするなどし血流を良くする）
 - 腔内の健康管理（水があまり使えなくても口の中の清潔を保つ）
 - 十分な睡眠、休息をとる（免疫が弱らない）など。

みんなで教育を考える集い

3月9日、総合研修センターにて、第17回みんなで教育を考える集いが開催され、約120人が来場しました。

郷土を愛する心を持ち、かけがえない自他の生命を尊重する心の育成と、他人を思いやりいじめを許さない社会の実現を目指す強い意志と確かな学力を備えた子どもたちの育成を目指し、多くの町民や近隣住民が一堂に会し、子どもの教育を考える機会とすることを目的に開催。

はじめに、土幌町の文化やスポーツの向上発展に関し、特に顕著な功績をあげた7部門、個人35人・5団体に対し表彰式を行った後、北海道日本ハムファイターズスペシャルアドバイザーの田中賢介氏を招き「Challenge with Dream」と題し、講演をしていただきました。



田中氏は、2000年日本ハムファイターズにドラフト2位入団し、2019年現役引退するまでに5度のリーグ優勝・2度の日本一を経験、ファイターズで社会貢献、地域貢献、そしてチーム強化・スカウトなどスペシャルアドバイザーとして活躍。また、子どもたちに貢献したいと、2022年4月「田中学園立命館慶祥小学校」開校し、理事長も務めています。

最後は「この挑戦する姿勢を大人が見せるべきであり、私も大人の一人として、教育分野と野球の分野で今後も挑戦し続けるので、田中学園の子ども達だけでなく、北海道の子ども達も感じてくれたら」と講演を締めくくりました。

表彰者は次のとおりです。(敬称略)

ジュニア文化奨励賞

- 松山 純生 (土幌小2年)
令和6年度J A 共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール 佳作
- 成田 百助 (土幌小2年)
令和6年度十勝子ども大会絵画の部 特選
- 早坂 梨心 (上居辺小2年)
同書写の部 特選
- 小川 夢 (中士幌小3年)
同社会科学作品の部 金賞
- 春日 舷大 (中央中1年)
同技術科作品の部 特選
- 久田 蒼衣 (中央中3年)
同工芸・彫刻部門 特選



文化賞

- 森下 音羽 (土幌高校2年)
令和6年度日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会農業鑑定競技会 分野・作物 最優秀賞



文化奨励賞

- 赤間 かのこ (土幌高校2年)
令和6年度日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会家畜審査競技会 乳牛の部 優秀賞
- 三本木 奏 (土幌高校2年)
同農業鑑定競技会 分野・食品 優秀賞
- 西澤 亜美 (土幌高校3年)
同農業鑑定競技会 分野・食品 優秀賞

星久保 龍威 (土幌高校3年)

令和6年度第54回東北北海道学校
農業クラブ連盟意見発表大会

分野Ⅱ類 優秀賞

土幌高校環境専攻班(星久保龍威、
酒井悠名、田辺翔大、田中零音)

令和6年度第72回東北北海道学校
農業クラブ連盟実績発表大会

分野Ⅱ類 最優秀賞

土幌高校クラブ活動発表(駒井心咲、
北出峻、中西はな、佐々木紗和)

同分野クラブ活動発表 優秀賞

土幌高校地域資源専攻班(新鞍清香、
西潟孝司、的場智里、脇坂心結)

同分野Ⅲ類 優秀賞

土幌高校畑作専攻班(柴田煌士、
濱田彩香、鈴木健心、森下音羽、
小嶋陽人)

同分野Ⅰ類 優秀賞



ジュニアスポーツ賞

飯島 健心 (土幌小4年)

2024/2025全日本ノー
ビスケート競技会札幌大会
小学4年男子 1000m 第
1位

上野 光輝 (土幌小4年)

同小学4年男子 1000m

第5位

松山 開晴 (土幌小4年)



同小学4年男子 500m 第5位
1000m 第4位

大野 蓮之佑 (上居辺小4年)

世界ジュニア記念北海道・中
学生スピードスケート競技大会

小学4年男子 500m 第1位
2024/2025全日本ノー
ビススピードスケート競技会富
士吉田大会 小学4年男子 500
m 第1位 1000m 第1
位 第37回南部忠平記念陸上競
技大会 小学4年男子 800m
第1位

鈴木 凱大 (中央中1年)

令和6年度全国中学校体育大会
第45回全国中学校スケート大会
中学男子 1500m 第6位

奥秋 優大 (中央中2年)

林下 湊祐 (中央中2年)

第1回全道地区U-15選抜フッ
トサル大会 優勝

河村 京葉 (中央中2年)

令和6年度北海道中学校新人陸
上競技大会 女子砲丸投げ 1
位 令和6年度全国中学校体育
大会第45回全国中学校スケート
大会 中学女子 1500m
4位

富田 凜 (中央中3年)

第33回北海道中学生バレーボー
ル優秀選手選抜大会 優勝

ジュニアスポーツ奨励賞

野口 桂吾 (土幌小1年)

第46回全十勝少年団スケート交
歓大会小学1年男子 500m 第
1位

佐々木 渚美 (土幌小3年)

第70回全十勝児童スケート選手
権大会 小学3年女子 総合1
位

藤内 陽和 (土幌小4年)

第16回全十勝新体操競技選手権
大会 新体操 Cクラス 第1
位



名波 令穩 (土幌小5年)

第14回北海道ジュニアスキー技

術選手権決勝大会予選会北見会

場 小学生男子の部 第2位

松倉 侑利 (土幌小5年)

同サホロ会場 小学生男子の部

第2位

吉田 えるの (土幌小6年)

同旭川会場 小学生女子の部

第1位

藤内 琥牙 (土幌小6年)

第47回会長杯争奪トランポリン

競技選手権大会 トランポリン

競技 Bクラス 優勝

松山 雄世 (土幌小6年)

第26回阿部重広杯長距離競技大会

小学男子1500m 第2位

士幌陸上クラブ4年男子チーム

(飯島 健心・松山 開晴・上野

光輝・大野蓮之佑)

サーキット陸上競技大会第3戦

小学4年男子 4×100mリレー

第1位

中川 琴葉 (中央中1年)

令和6年北海道中学校体育大会

第55回北海道中学校スケート大

会 中学女子 1500m 第

5位

野口 夏帆 (中央中2年)

同中学女子 500m 第6位

スポーツ賞

上野 結菜 (帯広農業高校1年)

第74回全国高等学校スピードス

ケート競技選手権大会 女子2

000mリレー 第3位

奥秋 静子 (帯広三条高校2年)

同女子 500m 第1位、100

0m 第2位、パシユート 第

1位、2000mリレー 第1

位

鈴木 咲風 (帯広南商業高校3年)

同女子2000mリレー 第2

位

スポーツ奨励賞

入澤 蒼空 (帯広工業高校3年)

第76回北海道高等学校バドミン

トン選手権大会 男子団体 第

3位 第76回北海道高等学校バ

ドミントン選手権十勝支部予選

会 男子団体 準優勝

坂本 頼武 (白樺学園高校3年)

第77回北海道高校陸上競技選手

権大会 男子走幅跳 第6位



茶の間

まちの動き

第28回土幌町下の句かるた大会



2月16日、総合研修センターにて、実行委員会（土屋仁志実行委員長）主催の第28回土幌町下の句かるたが開催され、9チーム30名が参加しました。

参加者は、集中力、判断力を研ぎ澄まし、練習の成果を発揮していました。結果は左のとおりです。

一般A級	
優勝	佐倉の未来
準優勝	朝井金物店
第3位	玲瓏の乙女
一般B級	
優勝	玲瓏の銀
準優勝	佐倉の月
第3位	棚からぼたもち
小学生A級	
優勝	玲瓏・華雪
準優勝	玲瓏・金
小学生B級	
	玲瓏・さいきょういちご ミルクちょこ

企業版ふるさと納税 感謝状贈呈式

ホクレン農業協同組合連合会

2月17日、応接室にて、ホクレン農業協同組合連合会（篠原末治代表理事）田中英輝帯広支所次長へ、高木町長から企業版ふるさと納税に対する感謝状を手渡しました。同連合会には一昨年、昨年に引き続き、100万円のご寄附をいただきました。寄附金につきましては「安心して住み続けることができる地域をつくる事業（再エネ導入促進事業）」に活用させていただきます。

高木町長は「未来に対する投資ということで、土幌町を発展させるような町づくりをしていきたい」と話し、田中次長は「北海道全ての市町村、住民の皆さんの支えがあつての会社だと思っており、毎年企業版ふるさと納税を受け付けている北海道全ての市町村に寄附をしている。有効に使ってもらえる」と話していました。



放射線に関する 出前授業

土幌町中央中学校



2月19日、土幌町中央中学校にて、文部科学省の「放射線に関する出前授業」の一環で、北海道科学大学保健医療学部診療放射線学科の真田哲也学科長、小倉巧也助教を講師に招き、3年生を対象に霧箱実験と放射線測定を行いました。放射線が飛んだ軌跡などを通じ、普段なかなか見ることができない放射線を目にし、生徒たちは興味津々で授業を受けていました。

マイホーム建設支援 事業補助金を贈呈

服部大暉さん

2月20日、町内で住宅を新築された服部大暉さんへ「マイホーム建設支援事業補助金」80万円（うち40万円は商工会商品券）が高木町長から手渡されました。

町では、移住・定住者の増加を図るため、町内に初めてマイホームを持ち、10年以上定住される方に補助金を交付しています。

補助金の使い道について、服部さんは「家具や家電を買いたい！」と話していました。



補助金の詳細は、町公式ホームページをご覧ください。↓



令和6年度第4回 士幌町子ども・子育て会議が開催されました。

2月25日(火)19:00よりコミュニティーセンターにおいて第4回士幌町子ども・子育て会議(松浪浩之会長)が行われ、第3期士幌町子ども・子育て支援事業計画(令和7~11年度)を町長代理の亀野副町長へ答申しました。

計画は「子どもたちが健やかに成長することのできるまち」「人に子育てにやさしいまち」「社会全体、地域で子育てを支援するまち」の実現に向け、計画が着実に推進されることを要望しました。松浪会長は最後に「委員からの意見やアンケートでの様々な意見をしっかり受け止めていただき、計画が着実に実行されることを願う」と話しました。

子ども・子育て会議の様子



松浪会長から副町長への
答申の様子



連絡先 認定こども園 幼児教育課 ☎5-2364 (相談専用) 5-2502

100歳の誕生日

おめでとう！

敬老祝い金贈呈！



3月4日、特別養護老人ホームほほえみにて、2日に100歳を迎えられた坂本アイ子さん(大正14年生まれ)に高木町長から敬老祝いが手渡されました。

アイ子さんは、上士幌町出身で50歳まで、農業に従事していました。常に笑顔で優しいアイ子さんは、レクリエーションに参加するのが楽しみで、何かを作ったりカラオケをしたり、積極的に取り組んでいるようです。当日は、ご家族に見守られながら祝い金を受け取りました。

アイ子さんに長生きの秘訣を聞いてみると「のんびり過ごすこと！」と楽しそうに話していました。

行政相談出前教室

士幌町中央中学校

3月4日、士幌町行政相談委員の庄司光恵委員と総務省北海道管区行政評価局釧路行政監視行政相談センター職員3名が、士幌町中央中学校を訪れ、3年生を対象に行政相談出前教室が実施されました。同センターの風間委員係長から、普段の生活と行政の関わりや、行政相談とは何か、大人になってから関わる行政についてなどの説明があり、庄司委員からは実際に士幌町で受けた相談について紹介されました。

庄司委員は「何かあれば気軽に相談してほしい」と話しました。



北海道日本ハムファイターズ マスコットB・Bがこども園と 中央中に！〜The HOME〜



2月28日、北海道日本ハムファイターズのマスコットB・Bとファイターズベースボールアカデミーの市川卓コーチが土幌町認定こども園、土幌町中央中学校を訪れ、子どもたちと交流しました。

こども園では、B・Bのピアノパフォーマンスや市川コーチによる野球体験コーナーがあり、最後には園児一人ひとりとふれあいタイムがあり、嬉しそうにしている様子が見られました。

中央中学校では、ふるさと納税を原資とした給食費無償化の取組！実際に市川コーチが生徒と一緒に給食を食べ、そのあと各教室を回り、生徒達と交流をしました。

第53回芸能発表会

〜土幌町文化協会〜

3月2日、総合研修センターにて、土幌町文化協会主催の第53回芸能発表会が開催され、約170名が訪れました。

ステージには、会員11団体が出演。それぞれが舞踊、大正琴、フラダンス、合唱などを披露し、魅力が溢れた発表会となりました。

〜出演団体は次のとおりです〜

【舞踊】芳彦会、藤悦津会

【大正琴】土幌蘭、

ひまわり会

【フラダンス】フラ・ハラウ・

モアナ・ラニ

【合唱】コーラスこもれび

【詩舞】聖月流剣詩舞

土幌同好会

【歌謡】歌友会

【独吟】土幌吟友会

【太鼓演奏】土幌高原太鼓

愛好会

【演舞】十勝晴



町内小学生交流

ミニバレー大会
〜スポーツ少年団〜



3月2日、町総合研修センターにて、第49回町内小学生交流ミニバレー大会（土幌町スポーツ少年団本部主催）が開催され、13チーム65名が参加しました。

予選リーグ戦の後、決勝トーナメントで順位を競いました。各チーム白熱した戦いが繰り広げられ、ミニバレーを通じて交流を深めました。

〜結果は左のとおりです〜

優勝 THHザマイイ土幌小
準優勝 6レンジャー土幌小5
第3位 上居辺A

認知症サポーター

養成講座

土幌町中央中学校

3月5日、土幌町中央中学校にて、町保健福祉課職員3名と認知症サポーターキャラバン・メイトの鈴木美嘉氏、佐藤智恵氏を講師に、認知症サポーター養成講座が行われ、3年生42名が参加しました。

講話では、以前より物忘れが増え、同じ話を繰り返すようになったと感じることがある。それは、認知症が原因なのか加齢が原因なのか、また認知症の人とどのように接したら良いのかなど話しました。

また、土幌町の介護施設や介護職員の紹介もあり、保健福祉課我妻主事は「興味がある人はみんなのもののくまさんにいたり、ボランティア等に参加してみてほしい」と話しました。



全道大会出場報告

土幌基礎スキー少年団

3月5日、

土幌基礎スキー少年団選手6名、井澤藍里さん（中央中1年）、吉田えるのさん（土幌小6年）、名波令穂さん（同5年）、松倉侑利さん（同5年）、名波心菜さん（同3年）、吉田このみさん（同3年）が、第14回北海道ジュニア技術選手権決勝大会予選会で全道大会出場を決めたことに伴い、土屋教育長のもとへ報告しました。

選手たちは「小学校最後の大会となるので上位を狙えるように頑張る」「全道大会は初めてなので練習した成果を発揮したい」などそれぞれ意気込みを語りました。土屋教育長は「自分の思うような成績を残せるように頑張ってきて欲しい」と激励の言葉を送りました。



カゴメ健康講演会

3月6日、町民保健センターにて、カゴメ「野菜と生活管理栄養士ラボ」の井上真規子さんを講師に招き、野菜の必要性や食習慣について考える食生活改善セミナーが行われ、町内外から52名が参加しました。

セミナーでは、野菜摂取の目標量と現状や、野菜の役割、野菜のさまざまな摂り方などが話されました。

井上さんは「適度な運動や十分な睡眠、良い食生活が送れないと心不全や脳卒中になるリスクがある。1日に摂取する野菜の量は350グラム必要とし、食事を選ぶ目を養うことが必要」と話しました。



新小学1年生へ愛の

おまもり寄贈

商工会女性部



3月6日、土幌町商工会女性部岡崎睦子部長と多辻聖美副部長が教育委員会を訪れ、町内の新小学1年生へ「愛のおまもり」を40個寄贈していただき、土屋教育長が受け取りました。

このおまもりは、土幌神社のお札が入っており、交通安全や子どもたちの成長への願いが込められ、入学を祝福するメッセージが添えられています。

岡崎部長は「特に今年は交通事故が多かったため、いつもより念入りにお祓いしていただきました。新小学1年生が事故なく、元気に通学してほしいと願っています。」と話していました。

出産祝い金贈呈

2月19日に國崎清伸さんの次男として生まれた雪雅くんへ、27日に森本絢哉さんの次女として生まれた凜星ちゃんへ、3月4日に成瀬雄大さんの第4子(次女)として生まれた琴音ちゃんへ、それぞれ出産祝い金が支給され、高木町長から手渡されました。

土幌町では第3子以降が生まれた家庭へ町長が直接出産祝い金を贈呈しています。

「ご出産おめでとうございます」



出産祝い金贈呈の様子
國崎雪雅くん(左)
森本凜星ちゃん(下)
成瀬琴音ちゃん(左下)



ジュニアワールドカップ・世界ジュニア選手権大会結果報告

「奥秋智佳さん・静子さん」

3月14日、応接室にて、2月1日～9日にイタリアコラルボで開催されたジュニアワールドカップスピードスケート競技会最終戦、世界ジュニアスピードスケート選手権大会に出場した奥秋智佳さん、静子さんが高木町長へ大会結果を報告しました。

智佳さんは「個人は海外の方が強く、歯が立たなかったが良い経験ができた。来シーズンからシニアになるので、そこでも頑張っていきたい」と話し、静子さんは「自分らしいレースができ、優勝という結果になってとても嬉しい。来シーズンも気合いを入れて頑張りたい」と話しました。



左から、奥秋智佳さん、奥秋静子さん、高木町長

土幌町 LINE 公式アカウント



土幌町 LINE 公式アカウントを友だち追加していただくと、町政に関するタイムリーな情報を受け取れるだけでなく、様々な機能をご利用いただけます!!
ぜひ、友だち追加をお願いします。



スマホで
かんたん登録♪



友だち募集中!!

←携帯電話の二次元コードリーダーで読み取ることができます。

春季町づくり懇談会 開催のお知らせ

町では、町民皆さまの声をより多く“町づくり”に反映するため「町づくり懇談会」を開催します。

下記の日程で開催しますので、お気軽にご参加ください。

開催日	開催時間	地 区	場 所
4月9日(水)	10:00~12:00	下居辺	下居辺地区集落センター
4月10日(木)	10:00~12:00	士幌南	士幌南地区集落センター
	13:30~15:30	士幌北	士幌北地区集落センター
4月11日(金)	10:00~12:00	上居辺	上居辺農業会館
	19:00~21:00	市街全域	コミセン(1階多目的ホール)
4月14日(月)	13:30~15:30	西上	西上地区集落センター
	19:00~21:00	中士幌	中士幌地区公民館
4月15日(火)	13:30~15:30	中音更	中音更地区交流促進センター
4月16日(水)	13:15~15:15	新田	新田集落センター
4月17日(木)	13:30~15:30	佐倉	佐倉交流センター

士幌町役場 地域戦略課広報広聴係 Tel 5-5212

人の動き

5,670人(-117) 男2,813人(-39) 女2,857人(-78) 世帯2,724(-20)

※2月末現在()は前年比

武義高校の生徒のみで構成される「未来創造課」が1年間の任期を終え、配属された6人の武義高生が武藤市長から解任の辞令を受け取りました。武藤市長は「100点満点以上の成果を出してくれた。年間を通じて大変感謝しています。次のステージでもがんばってください。」と激励。課員は「自分たちで考えて行動することができ、すごくいい経験になった」「行政の仕組みなど、学ぶことが多かった。市長や職員の皆さまのサポートのおかげで貴重な経験ができて感謝している」「自分たちが出した意見で少しでも美濃市に携わることができて良かった」「来年度、後輩たちは自由にやりたいことをやってほしい」と感想を述べました。

県立武義高等学校生徒による「未来創造課」への辞令交付式が行われました



▲辞令を受け取る様子

美濃のまちから

退職者(管理職)のご挨拶



前特別養護老人ホーム
施設長
齊藤 英雄

この度、長い間お世話になりました土幌町役場を、3月末日をもちまして退職いたしました。

平成5年4月に当時の企画課に奉職以来、32年間にわたり多くの部署に異動し、数々の経験を積みながら、さまざまなことを学ばせていただき、大変充実した人生を送ることができました。

この間、多くの町民の皆様や関係機関の皆様をはじめ、先輩や同僚の方々から多くのご指導、ご協力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は在職中に賜りました教訓を生かし、次の人生を過ごしてまいりたいと思います。

結びに、土幌町の益々の発展、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。

役職定年者のご挨拶



前幼児教育課
主幹兼副園長
邊見 由雅里

この度、3月末日をもちまして役職定年いたしました。昭和60年に奉職以来、新田へき地保育所を皮切りに、土幌保育所、西上へき地保育所、上居辺へき地保育所、川西へき地保育所、認定こども園と40年間にわたり保育業務や子育て支援係を担当し、沢山のお子様や保護者の皆様と出会うことができた。この「出会い」は、貴重な財産となりました。また、これまで町民の皆様をはじめ、先輩同僚から温かいご指導、ご協力を賜り職務を務め終えることが出来ました。今後は管理職としての役割を降りることになります。引き続き町職員として、これまで培った知識や経験を活かし業務に取り組んでいく所存です。どうぞよろしく願います。



前国保病院
総括科長兼薬局長
飯田 秀樹

この度、3月末日をもちまして役職定年いたしました。

平成元年の奉職以来、土幌町国民健康保険病院で薬剤師として37年間、勤務してまいりました。

この間、多くの町民の皆様、関係機関の皆様をはじめ、先輩同僚からの温かいご指導、ご協力を賜り、何とかその職責を勤めてまいりました。改めて、心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は管理職としての役割を降りることになります。引き続き町職員として、これまで培った知識や経験を活かし業務に取り組んでいく所存です。どうぞよろしく願います。



前土幌高等学校
事務長
木下 雅子

この度、3月末日をもちまして役職定年いたしました。支えてくださった教職員、保護者、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

平成20年に奉職以来17年間、土幌高校から始まり、産業振興課では道の駅リニューアルやしほろキッチン、(株)Cherry Sの設立など、先輩や同僚の皆様のご指導のもと、経験することのできない仕事に携わらせていただきました。感謝の念に堪えません。

土幌町とのご縁は、平成12年に兵庫県伊丹市より旧下居辺小学校へ、小学4年の息子と共に親子山村留学で訪れたことです。その際、温かく迎え入れてくださった下居辺地区の皆様にも心より感謝を申し上げます。多くの町民の皆様と繋がることができたのが私の財産です。

今後は定年までの2年間、町職員として業務に取り組んで参りますので、どうぞよろしく願います。

※役職定年制：定年年齢を段階的に引き上げ65歳とする定年延長制度により、60歳に達した管理監督職員は管理監督職以外の役職へ降任をする制度。

町民皆様のご指導とご支援に心から感謝申し上げます

健康ニュース

お酒にまつわる認知症のお話

お酒を飲み、やがて呂律は回らず千鳥足。二日酔いには向かい酒。古来より「酒は百薬の長」と伝わりしも、過ぎたる薬は毒となる。今回は、お酒が原因となる認知症についてです。

さて、長年の多量飲酒は脳が萎縮して、アルコール性認知症を発症することがあります。それでは、アルコール性認知症はどのような症状なのでしょう？以下にまとめてみました。

注意力や記憶力が低下する

数分前の出来事を忘れたりするようになります。

感情のコントロールができなくなる

急に怒り出したり、大声を出したりします。暴力に至ることもあります。

歩行が不安定になる

歩くとふらついたり、ひどい場合は歩けなくなることもあります。

見当識障害が起こる

日にち、時間、自分がいる場所などがわからなくなります。

作話をする

自分に都合の良いように辻褄を合わせたり、作り話をするようになります。

アルコール性認知症の症状は、介護をする家族の精神的負担が大きくなります。しかし、お酒の飲み方を改善することで、発症を防ぐことができる認知症でもあります。

つついもう一杯をやめるだけでも認知症予防になりますね。





こどもだより

大空へ向けてはばたけ！

認定こども園長 渋谷 浩



コロナ禍により中断していた年長児の熱気球搭乗体験を、久しぶりに行いました。今年は上士幌町の「B.C.(バルーンクラブ)あっ晴れ」(代表：山崎大地)さんの協力で係留搭乗体験に挑戦しました。

あいにく徐々に吹き始めた風のため、係留搭乗は断念せざるを得なかったのですが、園児たちの前でバーナーを点火して気球の立ち上げまで見せていただきました。そして球皮の空気抜きや畳んで袋に収納するお手伝いをさせてもらいました。さらに全員がレバーを引いてバーナーに点火するという迫力の体験もできました。



【球皮の空気抜きのお手伝い】

空に舞い上がることはできませんでしたが、卒園、そして小学校入学に向けた貴重なステップとなる活動でした。



【キラキラ輝く卒園児の笑顔】

4月からは小学生。大空へ向けてはばたけ！

連絡先 認定こども園なかよし 幼児教育課 電話 5-2364 (相談専用) 電話 5-2502



特養だより



短期入所生活介護の利用について

当施設では、要支援または要介護認定を受けた方に宿泊で介護を受けられる短期入所生活介護(通称：ショートステイ)を提供しています。ショートステイは、居宅の介護支援専門員(通称：居宅ケアマネ)から依頼を受け利用日程の調整などを行い、1日あたり10名までご利用が可能です。

これまでショートステイを利用された方の背景として、介護者が冠婚葬祭に出席する際や介護者の体調不良、介護疲れなどさまざまな理由が挙げられます。ショートステイのご利用は、介護者のワーク・ライフ・バランス(*)を整え、在宅介護を継続する上で非常に重要な役割を果たします。

まずは、お気軽に居宅ケアマネが当施設にご相談ください。当施設では、午前に軽運動リハビリ、午後には体操、レクリエーション、カフェなどさまざまな活動を行っております。(特養ほほえみのFacebookをご覧ください)

*ワーク・ライフ・バランスの定義「働くすべての方々が、『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方」)



特別養護老人ホーム
ほほえみ Facebook

連絡先 特別養護老人ホームほほえみ 電話 5-2416

安全・環境だより

旗の波を実施

2月14日に発生した交通死亡事故に係わり、中土幌西2線、国道241号において帯広警察署による「旗の波」が各関係団体のご協力のもと、2月20日に実施されました。交通事故による悲しい死亡事故を一扫し、車社会の恩恵を受けながらも社会に襲いかかる凶器の車にさせないよう、交通ルールの遵守はもとより、人命尊重を最優先することが重要と考え、これまでに以上に交通安全運動を展開していきます。

新1年生が『歩行者デビュー』

新年度を迎え、新1年生が「歩行者デビュー」します。各小学校で正しい横断歩道の渡り方、信号機の見分け方など交通ルールを指導いただいています。ご家庭でも話題にしてみてくださいますようお願いいたします。

小学生の歩行中の交通事故（令和元年～令和5年）をみると、小

学校1年生の重傷者数は6年生の約2.9倍に上ります。

ドライバーの皆さんは、いつ子供が飛び出してくるかわかりません。時間にゆとりを持ち、すぐに止まれるスピードで走行しましょう。



免許証返納臨時窓口を開設しました

2月6日、帯広警察署のご協力のもと、今年度3回目の臨時窓口を開設しました。自主返納は、警察署や運転免許試験場で行えますが、手続きの負担軽減を図るため、役場において実施しています。

今回を含め、これまで35名の方が臨時窓口を利用し、返納されて

います。次年度も実施する予定ですので、返納をご検討の方はぜひご利用ください。

大型ごみ、小型家電、鉄金物類を回収します

4月は、大型ごみ、小型家電、鉄金物類の回収月です。ごみの出し方を守り、収集日の朝8時までに出しましょう。

●大型ごみ

45リットルの指定袋に入らない物は大型ごみです。大型ごみシールを貼って出してください。（長さが2m、重さが100kgを超える物は収集できません）

●小型家電

45リットル以下の袋に入るコンセントまたは電池を使用する電化製品が対象になります。

●鉄金物類

透明もしくは半透明の袋に鉄金物類だけを入れて出してください。袋に入らない大きな鉄金物類（例 自転車など）は大型ごみのシールを貼らずに出してください。（長さが2m、重さが100kgを超える物は収集できません）

前年度とのごみ発生量の比較

2月は前年同期と比較して燃やせないごみの量が増加しています。資源として分別できるものは、地区の集団回収を利用したり、リサイクル業者へ持ち込むなど、ごみの減量にご協力をお願いします。次年度も、生ごみ処理容器などの購入費助成を行いますので、ご利用ください。

今月のごみ指数

単位：kg

	令和7年2月分		前年同期		増減
燃やせるごみ	55,120		59,880		-7.95%
燃やせないごみ	11,580		8,870		30.55%
合計	66,700		68,750		-2.98%
町民一人当たりの ごみの量	5,670	11.8	5,787	11.9	
資源ごみ	34,143		36,241		

ごみに関するお問い合わせは、役場生活環境係（町民課直通）☎5231までお願いします。



目のお悩み、ありませんか？

当院では、毎週木曜日に北海道大学眼科学教室の医師をお招きし、眼科診療を行っています。
白内障や緑内障をはじめとした目の病気でお悩みの方、遠方の眼科への通院にお悩みの方は、是非ご相談ください。

- ◆白内障 … 水晶体（レンズにあたる部分）が混濁し、目が霞んだり、物が二重に見えたり、眩しく見えるなどの症状が出現します。
- ◆緑内障 … 主に、眼圧が高くなることにより視神経が障害され、視野が狭くなったり部分的に見えなくなる病気です。眼圧が正常でも発症することがあります。

※精密検査などが必要な場合は、他の病院での実施をお願いする場合がございます。

※眼鏡・コンタクトレンズの処方はありません。

眼科（毎週木曜日）受付時間 8：40～11：30
（ご予約制ではありません）
担当医：北海道大学眼科学教室 長谷 敬太郎先生



～ 小児科のご案内 ～

当院の小児科外来では、各種予防接種のほか、ぜん息や風邪症状などがあるお子さまの診察を行っています。

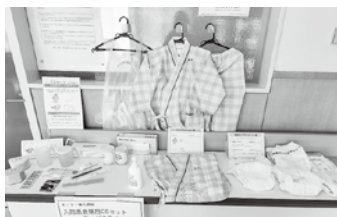
発熱、吐き気、腹痛、下痢など感染症を疑われる症状についても小児科で診察いたしますので、当院へご相談ください。

小児科 毎週 水 受付時間 8：40～11：30
毎週月・金 受付時間 13：15～16：00
担当医：清水 重男先生（元音更こどもクリニック理事長）
※予防接種を除いて、予約制ではありません。



入院セットサービス導入のお知らせ

令和7年4月1日より、入院患者様に向け、CS（ケア・サポート）セットを導入することとなりました。CSセットとは、入院時に必要となる衣類、タオル類、日用消耗品類、紙おむつ類などを日額定額でご利用いただけるサービスです。入院時の持ち物を少なくして当院へお越しいただけます。



※CSセット導入に伴い、現在行っている病衣の貸出、オムツの販売は終了いたします。CSセットのご利用または各自でのご用意をお願いいたします。

フリーWi-Fiが
使えます！



待合ロビー、外来診察室前、透析室にフリーWi-Fiを導入しました。
待ち時間などにご利用ください。

※院内に掲示してある利用規約や注意事項をご確認のうえご利用ください。



弥生3月、旅立ちの日

今年度、24名(アグリビジネス科17名、フードシステム科7名)の卒業生が土幌高校を巣立っていきました。振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響で、1年生の頃は物足りない学校生活だったかもしれません。2年生以降は、コロナ禍の前のように充実した学校行事もあり有意義な高校生活となったことでしょう。3年間で学んだ“志”を持ち、新たなステージへと旅立ってください。また、町民の皆様には今年度も大変お世話になりました。次年度も引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

◆3月1日(土)卒業証書授与式挙行

本校体育館において、第72回卒業証書授与式を挙行了しました。卒業生は皆、笑顔でそれぞれの進路に向けた旅立ちの日を迎えることができました。お世話になった関係各位には改めて感謝いたします。

アグリビジネス科3年担任 齋藤 貴裕

土幌高校での3年間は、各種行事に主体的に取り組み、多くの功績を残しました。この学びをもとに多くのスキルを身に付けました。3年1組は新たなステージへと歩み始めます。そして、これまで保護者の皆様をはじめ、地域の方々におかれましては、多大なご支援を頂きました。

3年間、本当にありがとうございました。



アグリビジネス科



一人ひとりに手渡しで卒業証書を授与しました



フードシステム科

フードシステム科3年担任 桂野 文志

保護者や地域の皆様方のおかげで3年間すくすくと成長し、卒業を迎えることができました。これから社会に出て活躍していく卒業生にとって、土幌高校の中で培った社会性はかけがえない力だと思います。周りへの感謝を忘れずにこれからも成長してくれることを願っています。

3年間ありがとうございました。

---【4月の予定】※行事は全て予定です。---

- 年度始休業 ~7日
- 始業式・着任式・入学式 8日
- 新入生対面式 9日
- 海外文化交流学習会 9、16、23日
- 級内意見発表(1年生) 14、15日
- 東北北海道農業クラブ連盟春季代議員会 18日
- 年度始総会・プロジェクト計画発表 25日
- 授業参観・PTA 総会 26日

土幌高校産大豆で作った豆腐の給食

本校生徒が栽培した大豆が、日向醗酵食品様のご協力で製造した豆腐として町内小中学校の学校給食で提供されました。好評でしたので、今後も計画しております！



麻婆豆腐です



食育授業 in 中土幌小学校



令和7年度の 教育が始まります

今年の小・中学校の始業式並びに入学期は4月8日に行われます。士幌町教育実践テーマ『過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育』に基づいた令和7年度の教育活動が始まります。

士幌町の子どもの健やかな成長を目指し、「基礎・基本を身につけた確かな学力の育成」「優しさと思いやりのある豊かな心の育成」「健康とたくましい体力の育成」「安全・安心な教育環境づくり」「都市交流事業」「食農体験学習」「大地くんと学ぼう」「コミュニティ・スクール」「幼・小・中・高連携教育」「生涯教育・学習機会の充実」などに取り組んでいきます（詳しくは、教育行政執行方針をご覧ください）。

士幌町いじめ防止 子ども会議

全国・全道的に「いじめ」が問題となっており、いじめの認知件数が増加傾向にあります。

このため、士幌町内の各学校では、「いじめ防止基本方針」を策定し、組織的にいじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めています。また、児童会・生徒会でも、挨拶運動や集会活動など、お互いの絆を深め楽しく生活できる活動に取り組んでいます。

今回、子どもたちが、「それぞれの学校の取組を交流することで、お互いの取組を繋ぎ、町全体でいじめ根絶に向け意識を高める」こ



とを目的に、初の試みとして「士幌町いじめ防止子ども会議」を2月17日に開催しました。時期的なこともあり、残念ながら高校は参加できませんでしたが、小学校3校と中央中の児童会・生徒会の代表が参加し、オンラインで会議を行いました。

司会や記録、運営は中央中の生徒会が担当し、参加した子どもたちは、中学生のスムーズな司会進行により、いじめ根絶について自分事として真剣に考え、堂々と意見を発表し合うなど、熱心な討議を繰り広げました。

最初に、各校の児童会・生徒会の活動内容の交流を行った後、いじめ防止に向け取り組んでいることや取り組んだら良いことを話し

合いました。各校の代表からは、「全校遊び」や「きずな集会」などの取組事例の紹介や、「いじめとは何なのか、恐ろしさを伝える取組」「相手のことを考えた発言」「目安箱の設置」「笑顔カード」「相手を配慮した言葉遣い」などいじめ根絶に向けた様々な意見が出されました。

最後に、出された意見を中学生が上手にまとめた案を全体で確認し、町内全体で「いじめが何故だめなのか、起きるのか、どのような言葉遣いが良いのかについて話し合いをする。それを校内に掲示し、取り組む」ことになりました。

今後も小中高の子どもたちが主体的にいじめについて考え、行動に繋げる機会を設定していこうと考えています。



町民文芸

俳句

・春の靄^{もやもや}心ゆるやか希望湧く

和田 節女

・桜咲く美しき夢追い求め

研紀

・花起こし誘うがごとく春の空

研紀

・ふき鶴や羅針盤無きこの人生

水音

・しつけ糸はずし制服入学す

水音

川柳

・人生は自分のために生きようね！

和田 節子

短歌

・夕暮れに国道ぞいの電線に無数のカラス大にぎわいで

清水さよ子

・同窓会白髪頭としわ顔も語れば瞳に若さあふれる

三木 悦子

バトンタッチ



目標は道内旅行完遂?!



本通

山本

維吹

さん

プロフィール

◆家族構成◆

单身

◆土幌で好きなもの◆

道の駅ピア21しほろのソフトクリーム

◆旅行に行くとしたら?◆

函館

維吹さんは、音更町出身で上士幌高校に入学。卒業後は、帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻で、介護に関する知識や、利用者さんとのように接するかなど実践形式で学んでいたそうです。

現在は、家族が介護系の仕事をしており、その話を聞いて「やってみたい!」と思ったことをきっかけに、土幌町立特別養護老人ホームほほえみで、利用者さんの介護や施設内での行事、Facebookの投稿などさまざまな業務を行っています。

「声が小さくて、利用者さんになかなか自分の声が伝わらない」と話す維吹さんですが、「ありがとうなど感謝の言葉を言われるとき、やりがいをを感じる」と話していました。

休みの日は、ゲームをして過ごす維吹さん。最近はスマホゲームの「ポケポケ」にハマっているようです。実際にカードの方でもやっているようなので、カードとは違ったルールがあつて面白いただとか…

旅行に行くのも好きなようで、札幌や旭川に行ったりしているようです。

「時間があれば、東京に行つてスカイツリーをもう一度見に行きたい!」と話していました。

これからの目標を聞いてみると「まだ道内でも行つたところがないところへ行きたい!」と意気込む維吹さんでした。

次回は本通の齊藤由佳さんにバトンタッチ。維吹さんから由佳さんへ一言。「引き続きインタビュよろしく願います」

したしみ図書館 新しく入った本

【児童書】

ここは、ようかいチビッコえん
(大島妙子)
ボクは「弱虫」だったから(CAN)
かぞえかたいろいろ(砂山恵美子)
やっちゃればほっちゃれもつききー！
(すみもとななみ)
チリとチリリさくらのおはなし
(どいかや)
くらげのパポちゃん(中島加名)
とーんだとんだ(長谷川義史)
南極犬物語(綾野まさる)
グレッグのダメ日記 すごいひみつ
(ジェフ・キニー)
大人も知らない？日本文化のなぞ事典
(日本文化のなぞ研究会)
はじめての国宝(小学館)
まんが音楽の歴史 1
(Gakken)

【一般書】

佐藤愛子の孫は今日も振り回される
(杉山桃子)
カフネ(阿部暁子)
音のない理髪店(一色さゆり)
薬屋のひとりごと 1-3(日向夏)
C線上のアリア(湊かなえ)
禁忌の子(山口未桜)
好きな食べ物が見つからない
(古賀及子)
今すぐ使えるかんたんノートパソコン
(門脇奈奈子)
身近な人が亡くなった後の手続きのすべて 第2版
(児島明日美)
美しい物理の小宇宙(小澤直也)
本当の自由を手に入れるお金の大学 改訂版
(両@リベ大学長)
マップで歩く東京ディズニーリゾート 2025
(講談社)

★おふとんのなか、みせてみせて！

(ヒド・ファン・ヘネヒテン)

知りたがりやのネズミくん。みんなはどんなふうに、ねんねするのかな？動物たちのふとんをめくると、しかけが楽しい絵本。自力で眠る習慣づけ「ねんねトレーニング」のきっかけになります。



★葛屋重三郎と粋な男たち！

(櫻庭由紀子)

金なし、才能なし、権力なしから、葛屋重三郎はどのようにして江戸のメディア王になったのか？粋、野暮、意地と張り、洒落、笑いなど、葛屋重三郎の「成功の作法」から、現代の処世術を学ぶ。



★★今月の休館日★★

1、8、15、22、29日
(毎週火曜日)

したしみ図書館(総合研修センター内 電話5-2281)【開館時間】10時00分～18時00分まで
<https://www.ik.licsre-saas.jp/shihoro/webopac/index.do>

★善意に感謝します★

寄附・寄贈

▼協働のまちづくりに係る基盤づくりに関する事業

松井 咲子さん

10万円

《企業版ふるさと納税》

▼安心して住み続けることができる地域をつくる事業

ホクレン農業協同組合連合会

(札幌市) 100万円

《特別養護老人ホームへ》

石水 諒さん(柏野)

じゃがいも、長いも

アトリエ会 じゃがいも、豆類

報恩寺仏教婦人会 洗濯洗剤

青島 秀子さん(平原第二)

トイレットペーパー他

★おくやみ★

上鹿戸 俊子さん(78歳) 平原

名波 元子さん(84歳) 西上

大久保 キセさん(95歳) 特養

増野 セツさん(90歳) 特養

三上 スミエさん(96歳) 特養

渡邊 リウさん(89歳) 新田第二

★お誕生★

吉川 つきの 智 紀さん 中央
(2月9日生) 亜依さん

公式 Instagram フォローお願いします！



@TAKAGI_GRAM



@TAKAGI_GRAM

高木康弘

北海道 #札幌市 #農村ユートピア #町長
個別の返答はできません

プロフィールを編集

高倉 千歳さん(2月11日生) 健西
藤内 香帆さん(2月20日生) 梨沙さん
足立 華乃さん(2月22日生) 留夏さん
牧野 眞大さん(2月25日生) 梨子さん
世稟さん(2月25日生) 浩幸さん
鈴木 十和さん(2月25日生) 麟太郎さん
真弓さん 新生
(3月15日受付分まで)



暮らしのカレンダー 4月

日にち	行	事	場所
1 火	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	13:30～14:30	ふまねっと	タウン
2 水			
3 木	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
4 金	8:50～ 9:20 受付	まる元運動教室	保セ
	9:00～11:30	赤ちゃん相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:00～10:30 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
5 土			
6 日			
7 月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆ 10:00～11:00	ぴよぴよ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
8 火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 10:30～11:30	スマイル教室	認定こ
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
9 水	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
10 木	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
11 金	☆ 9:30～11:30	わんぱくの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
12 土			
13 日			
14 月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	13:30～14:30	ふまねっと	タウン
15 火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:30～14:30	ふまねっと	中士幌
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
16 水	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	10:00～10:10 受付	むし歯予防教室	保セ
	13:30～14:30	ふまねっと	タウン
17 木	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児

8:50～ 9:20 受付	まる元運動教室	保セ
☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
☆ 9:30～11:30	おひさまの日	認定こ
10:00～10:30 受付	まる元運動教室	保セ
13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
19 土		
20 日		
9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
☆ 9:30～11:30	なかよくあそぼ	中児
13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
9:30～11:00	おっぱい相談（要予約）	福セ
☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
8:50～ 9:20 受付	まる元運動教室	保セ
☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
10:00～10:30 受付	まる元運動教室	保セ
13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
13:15～13:30 受付	予防接種 (BCG・麻しん風しん混合)	保セ
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
26 土		
27 日		
9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
29 火		
☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児

※子育て支援は0歳から就学前のお子さんを持つ家庭の方が対象です。また、キッズ・クラブは会員登録制です。☆印のお問い合わせや子育ての相談は子育て支援センター(電話7-4102)または認定こども園なかよし(電話5-2502)まで
※まる元運動教室は、地域包括支援センター(電話5-2188)にご相談ください。

【凡 例】 **保セ**→市民保健センター
福セ→総合福祉センター
中児→中士幌児童ステーション

認定こ→認定こども園なかよし
国保→国保病院
中士幌→中士幌地区公民館

タウン→タウンプラザ
総研→総合研修センター
もりくま→みんなのもりのくまさん